

質問事項

- ◆想定外の大災害を想定した対策はできているか
- ◆新型コロナウイルス対策

河野節子

ここの せつこ 議員

想定外の災害に備えて 廃校を避難所としての 整備を



問 再生土の埋め立て場所の数と安全対策は。
答 市内において59カ所あり、現在、太陽光施設や資材置場として利用されている土地と未活用用地があります。また、安全対策については、埋め立て等の現場について大雨や地震の際には巡回を実施しています。市が把握する再生土の埋め立て現場付近に民家はなく、崩壊による人的危険が想定される場所はないものと考えますが、県とともに危険防止に努めています。

問 線状降水帯などの集中豪雨の被害を想定した場合の市内河川の危険降水量とその対策は。
答 市内の主な河川の降雨量については、利根川は群馬県伊勢崎市上流域の3日間の降雨量が491ミリ、小野川は1日の降雨量が688ミリ、黒部川は1日の降雨量が672ミリと想定されており、これに基づいた浸水想定区域図などを市総合防災マップに掲載し周知を図っています。

問 土砂災害の避難所は危険地区の区長や住民と連携ができていますか。
答 自治会連合会総会などにおいて、防災に係る連携について自治会長に依頼しており、災害時における情報連携の構築を図っています。



市総合防災マップ

問 中長期の避難所として廃校を整備し、想定外の災害に備えておけないか。
答 一定期間滞在する避難所として活用可能ですが、災害時に使用できるよう清掃及び水質検査などが必要であり、かつ使用可能な状態を維持しなければならないといった課題があります。

問 保健所と連携して市民の命を守るためには、自宅療養者の情報を共有し生活支援を行うべきだが、市は何をしているのか。
答 自宅療養者の支援体制は、感染者については保健所が支援を行い、濃厚接触者等については市において専門チームを設置し保健所からの要請により支援を行っています。今後、自宅療養者が増加した場合、感染者についても保健所と連携した対応が求められると考えますので、自宅療養者の訪問診療などについて香取郡医師会と協議を始めています。

問 県が情報を流してくれないから保健所任せではなく、いすみ市の例に倣って自宅療養者の重症化を防ぐためにも市町村と情報の共有を市長から知事に働きかけてほしいが。
答 いすみ市の例を参考にしながら対策を講じていきます。また、知事に対しても働きかけしていきます。

おみがわ医療センターの 独法化は「命と健康」の 後退へ



質問事項

- ◆通学路の安全対策
- ◆独居老人の新型コロナウイルスワクチン接種の対応策
- ◆急傾斜地崩壊対策事業
- ◆香取おみがわ医療センターの独法化に伴う問題点

宇井正一

ういしょういち 議員

問 八街市の児童交通事故は、各方面へ衝撃を与えました。市内における安全点検の実施による危険箇所の現状と今後の対応策はどのようなですか。
答 全小学校における通学路の一斉点検を行い、43カ所の危険箇所がありました。現地での確認が必要な20カ所について合同点検を実施した結果、ガードパイプやラバーポールの設置、路面標示や看板の設置などの安全対策を決定しました。それ以外の箇所についても実施に向けて努力してまいります。

問 独居老人等の新型コロナウイルス接種の対応策ですが、接種を希望しても手立てをとれない高齢者に対して、接種を希望する方全員に接種できる体制を構築すべきではありませんか。
答 現在、見守りネットワークに登録されている方の接種状況や接種の意向について確認しており、関係機関と連携し現状の把握に努めています。

問 強力な台風、集中豪雨による被害などが日常化する中で、がけ地などの崩落防止の対策事業を見直し、活用を広げるべきではありませんか。
答 他の自治体の制度などを調査し、今後研究していきたいと考えます。

問 香取おみがわ医療センターを市立から独立行政法人へ、経営形態を移行するのは、「命と健康」に関する自治体業務からの後退ではありませんか。職員の給与体系の改善の約束は実行されますか。
答 現在、令和4年4月1日の法人化に向けて、人事給与と制度の総合的な調整、見直しを行っています。独法化後も基本的に現状の制度を継続するものとします。なお、看護師職については、近隣の病院や当医療センターの医療技術職及び企業行政職を参考として、職務や職責に見合った給与となるよう昇格基準を見直しました。本年度の4月1日から適用し、給与などの待遇改善を行ったところです。



独立行政法人への移行を進める香取おみがわ医療センター